

# 2019年度国内施設視察会 「ツインリンクもてぎ」(栃木県)を訪問

## 施設見学と安全運転トレーニングを体験

**日** 本自動車会議所は11月11日、「2019年度国内施設視察会」を開催した。本視察会は、一昨年は日産、昨年はトヨタと、自動車メーカーの施設において試乗会を実施してきた。今回は高齢者の交通事故が社会問題化している中、自動車メーカーの安全に対する取り組み（安全運転トレーニング施設とその講習内容や最新の先進安全技術）を理解することを目的として、ホンダが運営する「ツインリンクもてぎ」を訪問し、試乗会を実施した。合わせて併設する国際サーキットやコレクションホールの見学も行った。参加者は18名。

JR東京駅に集合した一行は、バスにてツインリンクもてぎに移動し、はじめにコレクションホールを見学。二輪、四輪、汎用製品、レーシングマシン、国内外のライバル車など約300台が展示されており、ホンダの「技術の歴史」や「ものづくりへの情熱」が垣間見えた。昼食をはさんで午後は運転講習イン

ストラクターより「意識の脇見」（目は前を向いても、脳が別のことに気を取られていると目の前のことを認識できない事象）等、運転に危険な事象について、簡単な演習を交えた講義を受講した。

続いて安全運転トレーニングを実施。この施設では自動散水機で滑りやすくした低 $\mu$ （ミュー）路やスピンを強制的に誘発する設備を導入しており、一般道で起こり得るスリップやスピン等の危険な状況への対応を体験し、はじめての経験に驚く声が多数聞かれた。次に日本で唯一のインディカーシリーズやNASCAR（米国自動車レース）などを開催した本格アメリカンオーバルコースを見学し、サーキットやバンク（勾配）の大きさを確認した。最後に先進安全技術を搭載した車両に搭乗し、最新の緊急ブレーキや誤発進防止機能を体験、その技術レベルと事故低減効果を実感した。一行は改めて交通安全啓蒙活動の必要性を認識した1日となった。



ホンダの歴史だけではなく、創業期の人々の夢と情熱で溢れる「ホンダコレクションホール」



体験実習を前に、インストラクターから安全運転講習を受ける参加者の皆さん



滑りやすい路面で、ハンドルやブレーキ操作によりどうやって安定した走行ができるのかを体験トレーニング



衝突被害軽減ブレーキを搭載したクルマに同乗し、実際の効果を体験